



アニュアルレポート2001
日本語版

SERVING THE WORLD WITH TECHNOLOGY THK-THE MARK OF LINEAR MOTION

THKは、これまで困難といわれてきた機械の直線運動部のころがり化を独自の技術により実現し、1972年「直線運動案内(Linear Motion Guide)」として世界で初めて製品化しました。

この直線運動部のころがり化は、すべりに比べ多くのメリットがあり、メカトロニクス機器の高精度化・高速化・省力化など、機械性能を飛躍的に向上させました。工作機械、産業用ロボット、半導体製造装置、その他各種の産業用機器などのあらゆる直線運動部に用いられ、いまや先進メカトロニクス機器に、THK製品は必要不可欠といわれています。

THKはLMガイドのトップメーカーとして、そのシェア(推定)は国内70%、世界でも50%以上を有し、また創造開発型企業として国内729件、海外694件の特許権(出願中を含む)を有するなど、技術の革新に取り組んでいます。

100年以上の歴史を持つ回転運動用のベアリングに比べ、直線システムは開発されてから日が浅く、日本はもとより海外にも大きな未開拓市場が残されているため、市場は年々拡大を続けています。

拡大する需要にいかに対応するか、成長する市場をいかにリードしていくか。THKはこれらの問題に積極的に取り組み、「世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する」という経営理念のもと、さらに高い付加価値を持った技術と製品を提供し、発展し続けていきます。

市場に左右されない強い会社を目指します

Operational Results

LMガイドのパイオニア企業であるTHKは、1971年の設立から、2001年4月で30周年を迎えましたが、現在も絶えず革新的な取り組みを続けています。

2000年度(2001年3月期)はTHKにとって記録的な年となりました。主にエレクトロニクス関連からの旺盛な設備投資需要を背景として、連結ベースの売上高、営業利益、当期純利益はともに大幅に伸長しました。また、2001年2月には、当社株式を東京証券取引所第1部に上場いたしました。

当連結会計年度の当社を取り巻く状況は、国内においては、PC・携帯情報端末等のIT関連の著しい伸びを背景として、半導体製造装置業界を中心とするエレクトロニクス関連からの需要が急速に増大しました。また、IT関連需要が他の業界にも波及し、工作機械業界・ロボット業界からの需要も堅調に推移しました。

海外においては、米州ではエレクトロニクス関連からの需要が好調に推移し、医療機器関連や自動車関連からの需要も堅調に推移しました。欧州においても、エレクトロニクス関連を中心に木工関連やオートメーション関連からの需要が堅調に推移しました。アジアにおいては、急速な景気拡大のもと、エレクトロニクス関連からの需要が順調に推移しました。

その結果、当期の連結売上高は前期比34.9%増の1,402億87百万円となりました。連結営業利益は前期比79.1%増の256億95百万円、連結当期純利益は、135.5%増の143億16百万円となりました。





Strategic Focus

会社の中・長期的な取り組みとして、当社はかねてより「グローバル10 21(テン にじゅういち)」 21世紀初頭までに機械要素部品メーカーとして世界ベスト10に入る企業となるという経営スローガンを掲げております。このスローガンのもと、当会計年度においても積極的に施策を実施いたしました。

機械関連産業の市場は、世界的には、日本以外の海外により大きな潜在市場が残っていると考えられます。THKは、日本国内でのシェアを現在の70%からさらに高めていく一方で、海外でのシェアを大幅に高めていくことが可能と考えております。そのためには、海外での販売体制の強化を進めるとともに、「最適地生産」の考え方に基づき、現地需要にタイムリーに対応できるグローバル生産体制の構築が不可欠となります。

この一環として米州・欧州の需要に対応するための各生産拠点であるTMA(THK Manufacturing of America, Inc.)の増築、TME(THK Manufacturing of Europe S.A.S.)の新設工事に取り組んでまいりました。2001年7月にはTME新工場、TMA新工場棟がそれぞれ稼働し、グローバル生産体制がよりいっそう強化されます。同時に生産面での効率化も図って参ります。

また、製品開発面においても「創造開発型企業」として蓄積した技術を生かし、さらなる付加価値を持つ製品の投入に力を入れました。なかでもボールリテーナ®入りLMガイドシリーズのラインアップの拡充に力を入れました。長寿命、低騒音、スムーズ、メンテナンスフリー、低発塵などのメリットを生かすことで、顧客のニーズに応え、かつ、トータルコストダウンに寄与し、THK製品としての付加価値をさらに高めてまいります。

財務面においては、棚卸資産の圧縮や有利子負債の削減等を通じて財務体質の強化を図りました。



Outlook

今後の見通しといたしましては、国内では、これまでIT関連産業が牽引してきた設備投資に鈍化の兆しが見られます。また、米国の2000年末からの景気の急減速を受けて、輸出が伸び悩むことも予想されます。以上の理由から、当社および当社ユーザーを取り巻く環境は、総じて厳しい状況が続くことが予想されます。

このような情勢のもと、THKならびにグループ各社は、次世代製品である「ボールリテーナ®入りLMガイドシリーズ」の積極的な市場投入による販売強化とともに、新規分野の需要開拓、グローバルでの生産・販売体制の一層の強化を図ってまいります。

創立30周年を節目に過去の成功体験を捨てて、さらなる企業価値の増大を図って参ります。

寺町 彰博

代表取締役社長 寺町 彰博



地域別に販売体制を拡充しています。

国内

当期における日本国内の売上高は、半導体製造装置業界を中心としたエレクトロニクス関連からの需要が急速に増大し、111,641百万円(前年同期比35.0%増)となりました。営業利益は、原価低減を積極的に進めるなどコスト削減が奏功したことにより、22,855百万円(前年同期比87.2%増)となりました。

米州

当期における米州の売上高は、IT関連を中心とした設備投資を背景に、半導体製造装置向け、医療機器向け、精密機器向けが好調に推移した結果、15,610百万円(前年同期比43.6%増)となりました。営業利益は1,870百万円(前年同期比254.2%増)となりました。

欧州

当期における欧州の売上高は、主に自動車向け、工作機械向けが好調に推移し、また、半導体関連も規模自体は小さいものの順調に推移した結果、10,994百万円(前年同期比21.2%増)となりました。営業利益は、販売拠点の拡充や販売人員増強などによるコスト増の影響もあり、664百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

アジアその他

当期におけるアジアその他の売上高は、急速な景気拡大に伴い、エレクトロニクス関連からの需要が堅調に推移した結果、2,042百万円(前年同期比58.0%増)となりました。しかしながら、営業利益は、競合メーカーとの価格競争の激化などの影響もあり、3百万円(前年同期比97.1%減)となりました。

SPECIAL FEATURE

STRATEGIC FOCUS

市場に左右されない強い会社となるため

- ・高付加価値製品の継続的供給
- ・グローバル生産体制の構築と販売体制の強化
- ・その他の施策(コスト対策など)の実施

製品を軸とした戦略展開

THKの製品に対する考え方

機械の直線運動部におけるころがり化を実現したTHK。当社が開発したLMガイドを採用したことにより、工作機械、産業用ロボット、半導体製造装置などの機器は高精度・高速化を実現し、性能は飛躍的に向上しました。

THKは独創的な発想と独自の技術により世にない新しいメカニズムを提案し、付加価値の高い製品を提供してまいりました。それにより、顧客のニーズを把握、採用機器の性能向上とトータルコストダウンに貢献してまいりました。それがユーザーからの高い支持を得ている証だともいえます。

さらなる高付加価値製品の追求 ポールリテーナ®入りLMガイドシリーズ

この創業以来の取り組みの一環として、さらに、先進的な技術を製品に取り入れました。従来のLMガイドでは、ボール同士の摩擦によって干渉音が発生していました。ポールリテーナ®入りLMガイドは、このボール配列部にリテーナを加えることで、油膜接触により、ボール同士の摩擦がなく干渉音の発生がない静音構造となっています。さらに、摩擦がないことから、従来に比べ格段に長寿命を実現しています。その他にも従来のLMガイドに比べて、長期のメンテナンスフリーなどを実現しています。

このポールリテーナの導入により、LMガイドのメリットと性能の幅は増大し、製品のさらなる付加価値向上に大きく貢献します。

一般産業用ポールリテーナ®入りLMガイド「SSR形」、高剛性マシン用ポールリテーナ®入りLMガイド「SNR / SNS形」、世界標準形ポールリテーナ®入りLMガイド「SHS形」、ポールリテーナ®入りLMガイド「コンパクトシリーズSRS形」、幅広低重心構造ポールリテーナ®入りLMガイド「SHW形」、さらに、ボールねじにポールリテーナを採用したポールリテーナ®入り高速ボールねじ「SBN形」や、ローラーの特性を生かした高剛性・高荷重を実現するリテーナ入りローラーガイド「SRG形」を新たにラインアップに加えました。

THKは今後、「ポールリテーナ®入りLMガイドシリーズ」を戦略製品として積極的に市場に投入し、新規需要の開拓を進めるとともに、既存顧客への満足度を高めていきます。

グローバル生産体制の構築と販売体制の強化

THKは、独創的な発想と独自の技術により世にない新しいメカニズムを提案し、付加価値の高い製品を供給してまいりましたが、日本国内ではその認知度も高く、THK製品の市場シェアも高く推移しています。一方、海外では、LMガイドの普及率が日本国内に比べごくわずかであることから、まだ多くの潜在需要が存在すると考えられます。

今後、THKは高付加価値製品をテコに、積極的に海外市場の需要を開拓していきます。将来的には海外売上比率を現在の約25%から70%にまで押し上げることを目指します。

そのための具体策として、「グローバル生産体制の構築」を目標に現地生産体制を強化しています。この一環として生産面で米州・欧州市場をカバーするTMA (THK Manufacturing of America, Inc. : アメリカ・オハイオ州)とTME (THK Manufacturing of Europe S.A.S. : フランス・アルザス州)の生産能力増強に数年前から取り組んでまいりました。

TMAの増設工事は最終段階に入り、新工場棟は、2001年7月に稼働いたしました。この増設工事により総建物面積も37,000㎡となり、生産拠点として基盤がより強化されます。また、新工場棟はLMガイドの一貫生産ラインを持ち、今後の半導体製造装置や医療機器、精密機械向けへの需要増に現地生産で対応できる体制を整えて参ります。

また、TMEの新設工事も最終段階を経て、2001年7月に稼働いたしました。16,500㎡の新工場はLMガイドの主力工場として、自動車向けや、工作機械向け、規模はまだ小さいものの最近伸びが著しい半導体製造装置向けの需要に対応し、欧州における最重要拠点としてさらに生産体制の強化を図ってまいります。

2000年は、山口工場、山形工場や、THKの生産子会社であるTHK安田の生産体制を強化して受注に対応し、結果的に売上増を達成しました。今後は、海外生産拠点の本格稼働と共に、海外での需要開拓に向けて一層の販売体制の強化を進めてまいります。

その他の施策 強い会社への布石

R&D

今後とも、世にない新しいメカニズムを提案し続け、顧客ニーズに応えられるような製品開発を積極的に進めてまいります。

コスト対策

今後も引き続き外注加工費や経費の抑制等原価低減を進め、適切なコストマネジメントを図って参ります。

環境への取り組み

地球環境を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは企業の社会的責務であるとの認識に立って、環境負荷の継続的な低減と自然環境の維持・改善を図るための活動を推進していきます。

その他

この他にもTHKはより強い会社となるための施策を実行していきます。製造に着手してから完成するまでの「製造リードタイム」を現状の半分へ短縮する計画です。

CORPORATE DATA

THK株式会社

本社：

〒141-8503 東京都品川区西五反田3-11-6

Tel.：

03-5434-0300

設立：

1971年4月

従業員数：

2,803名

株式：

会社が発行する株式の総数 465,877,700株

発行済株式数 119,340,568株

株主数：

33,962名

名義書換代理人：

三菱信託銀行株式会社

上場取引所：

東京証券取引所

(2001年3月31日現在)

